

自由な学びの場
デモクラティックスクール
リベラ



松井幸子

デモクラティックスクールってなに？

2011/08/26 20:42 強制や評価、叱咤、激励がなくなるとあるがままの本来の自己を取り戻し、フローになれる。フローに慣れた時に人は自分の内に持っている本来の力を発揮できるのです。干渉しない、評価しないデモクラティックスクールで、強制し無くても、強制しないからこそ、

子供たちの本来の力が花開くのです「2011/08/27 13:45 学ぶとは生きる営み、生涯続く最大の喜びだと思います。ただ、子供たち、若者たちの多くにとって学ぶことが楽しみや喜びでなくなっている現実が心が曇ります。多くの若者にとって、学ぶとはつらく苦しい義務になっているのでは。2011/08/26 20:46 大人たちが管理し監督し指図する教育の在り方では、子供たちは本来の力を発揮することができません。知識を詰め込めが詰め込むほど、強制的な勉強を頑張れば頑張るほど、真の学力がつくことと遠く離れた結果になり、学ぶことが嫌いになるのです。

2011/09/24 21:16 数学に限らないけれど、私は子ども達に学んでいる事の意味をしっかりと理解してほしい。そのためにも、彼ら自身の問題意識とかけ離れたカリキュラムの押しつけは意欲をそぐ逆効果。数学を使って自分の頭で考える事の楽しさを何よりもまず、体験してほしいと思う。カリキュラム自身が理解を困難にする 2011/09/24 中学

の生徒が学校から出された数学の宿題プリントを見てびっくり。同じような因数分解の問題を100題。所々に同じ問題すらある。そして、やっている本人は因数分解の基本的意味を全く考えも理解もしていない。これでは、数学がわからない、あるいは数学嫌いを作るためにやっている、精神的拷問みたい 2011/09/24 今の学校の数学は、何となく鵜呑みにはしているけれど、自分の頭で「何で？」と考えないから、類題はできるけれど・・・。「数学の本質は自由にある」（カントール）自由で独創的な探求のない、計算練習ばかりに終始している。それでは数学の楽しさもわからないし、数学的思考を自分の物とできない。2011/09/23

アメリカのサドベリースクールというデモクラティックスクールでは、きちんといじめの問題を訴えて話し合うようです。「裁判」という表現をしていて、これにはちょっと抵抗があるのですが、でも、フランクに子ども自身が問題を話せる開かれた場があるのは良い事だと思います。2011/09/23 アリストテレスは生徒達と散歩しながらいろいろな事を議論し合ったという。歩くのは、脳にとっても良い刺激になって、物を考えるのに良いらしい。リベラが開校したら、朝に晩に自然の中をみんなで散歩しながら子ども達と語り合いたい。・・・そんな事を考えながら、ただいま日課のナイトウォークから帰宅。2011/09/23 困難は人間を強くする、乗り越える事で学ぶ事は多いけれど、無意味な困難を子どもに与えるのは、サディスティックないやらしさを感じます。罪を裁く権利が人間には無いように、人に試練を与える権利なんて誰にもない。ただ、困難を子どもが自分で乗り越えてゆくのが大人が肩代わり良くないのでは。2011/09/23 10:39 デモクラティックスクール サドベリー・バレースクールの創始者グリーンバーク氏が著書の中で、幾度も実感を込めてつぶやく。「教えたり、指図したりという余計なお節介をせず子どもの成長を見守るとするのはなんと強い忍耐を要求される事か」と。お節介をしなければ、子どもは自由に成長する。

2011/09/23 10:12 娘の話②娘は遠山啓さんがお孫さんのために作った「さんすうだいすき」の絵本と付録のタイルやパズルで遊ぶのが大好きだった。まさに、数と楽しく遊んでいた。集合とか

座標の概念も、子どもは自然に受け入れる。。その算数大好き娘・・・小学校に入ると。「算数は面白いけど、学校の算数って嫌いだなあ」 2011/09/23 09:59 我が家の娘は、漢字に興味を持って（子どもにとってはカナよりも漢字の方が面白い）小学校に入る前にかかなりの漢字を読めるようになっていた。読めれば6割方は書く事もできる。小学校に入って、知っている漢字を書いたら、先生にひどく怒られた。「習ってない漢字を使ってはいけません」・・・だって。

2011/09/23 09:53 楽しくないと、力をつかない。今の教育は楽しくない事を強制して、拷問のようなドリルを押しつけ、結局勉強なんて大嫌い・・・という子どもを大量生産している。たとえば、書き取りなんて、興味と無関係に書かせようとするから覚えられない。楽しい読書の中で無理なく読み書きできるのだから。 2011/09/22 日本の教育のそもそもの出

発点が自分の頭で考える楽しさとはかけ離れた、「強い兵隊」「賢くしっかり金儲けする起業家」「国民を強い力で束ねる官僚」そんな人間作りから出発しましたからね。自分の頭で、自分の問題意識出物を考えられる国民を育てるための教育にしないと・・・。 2011/09/22

大学時代に理科系ではないのに脳生理の講義を取っていた。そこでの一年間で、最も印象に残っているのは、人間は好きな事楽しい事しか脳のバリアを通過できないということ。入試にでるぞ。合格しないぞ。偏差値が下がるぞなんて脅迫しても、細切れの知識すら入っていかないという事なんだ。